

新基地建設反対名護共同センターニュース

「日米両政府対名護市民とオール沖縄」のたたかい



名護市長選で稲嶺ススム市長の3選を「オール沖縄」で勝ち取るうと日本共産党県委員会と後援会は17日、名護市内で小池晃書記局長を迎え決起集会を開催、会場満席の600人余が参加しました。

危険性拡大の新基地認めるかどうか
小池氏は「米軍機の重大事故が相次ぐ中、危険性を拡大させる新基地を認めるかどうか問われる」と述べ、名護市長選は「『日米両政府と新基地推進勢力』対『名護市民とオール沖縄』の構図です」と強調しました。

市長選勝利で翁長知事を支える
稲嶺市長は「市長選を勝ち取り、知事を支える力をさらに強く大きくしよう。絶対に基地は造らせないと決意を述べました。」

赤嶺政賢衆院議員、伊波洋一参院議員、名護市選出の親川敬典議、稲嶺市政与党の市議5人も駆けつけ連帯を表明しました。糸数慶子参院議員、玉城デニー衆院議員がメッセージを寄せました。

相次ぐ米軍機事故に県民の怒り沸騰！
稲嶺市長3選で新基地建設断念させよう

オスプレイ墜落1年 抗議集会に3000人



“必ず承認撤回につながる” 知事メッセージ

「欠陥機オスプレイ墜落1年 抗議集会」(オール沖縄会議主催)が15日、名護市内で開かれ3000人が参加。衆参のオール沖縄の国会議員や稲嶺ススム名護市長などが挨拶。富川副知事が翁長知事のメッセージを代読、国が違法工事を進めていることは「必ず承認撤回につながっていく」と断言しました。オスプレイ墜落現場住民を代表して二見以北住民の会・松田藤子会長が「国は県民の危機感を共有しない。許せない」と発言するなど、各地の住民代表が米軍機による危険性に抗議しました。



退役米兵は「テロリストをやっつけるためにイラクへ行ったが、自分たちこそがテロリストだった」と発言しました。



「山を壊した土砂で、美ら海を壊すな！」と海上から訴え

本部港からの碎石運搬船に抗議

沖縄防衛局は16日、初めて本部港から辺野古の工事現場まで運搬船で石材を搬入しました。ヘリ基地反対協はこの日抗議船4隻とカヌー19艇を辺野古・大浦湾に繰り出し抗議行動を展開しました。

午前9時頃、碎石を積んだ運搬船が大浦湾に現れると抗議船から「沖縄の山を破壊して積み込んだ碎石をこの美しい海に埋め立てることは二重の環境破壊であり、知事許可も得ない違法工事です。直ちに引き返してください」とマイクで抗議しました。運搬船はK9護岸の手前でいったん台船に移し替えて(写真下)護岸まで運びダンプで基地内へとダンプ150台分の碎石を運び入れました。

